



びーのびーのは、子育て中の親子がいつでも立ち寄れるほっとできる場所です。

びーのびーの 通信

2012年 3月号

NO.139 ■ NPO 法人びーのびーの事務局 ■

〒222-0037 横浜市港北区大倉山3-57-3

TEL045-540-7422 FAX045-540-7421

URL <http://www.bi-no.org>

●やわらかな光が子どもたちを包む・・・春です。

絆

まもなく震災から1年が経とうとしています。改めて、被災された皆さまへ心からお見舞いを申し上げます。

私たちびーのびーのもこの1年、被災地に向けての支援を行いました。その中心は、普段は絵本担当として活動しているスタッフ1人でした。彼女は阪神淡路大震災の時に何もできなかったとの思いから、東日本大震災の信じられない状況に居ても立ってもいられなくなり、災害の傷跡も生々しい4月に「思い出探し隊」(※写真や思い出に関するものを見つけるボランティア)に単身、参加。大船渡・陸前高田・東松島・石巻でのボランティア活動を通して、現地で得た被災地の状況やニーズを私たちのひろばに伝えると共に、新しい支援のネットワークを築いてきました。

活動中、びーのびーのと同じように商店街の空き店舗を改修して、先輩ママたちが立ち上げた陸前高田の“親子のひろば きらりんきっず”が、オープンから1年経たずして津波で全壊し、スタッフ全員が住むところを無くし、ご家族を亡くされた方もいらっしゃる事を知ります。長くびーのびーのに関わってきたからこそ不安な時に親子が安心して過ごせる場=ひろばの大切さを思い、その支援者を支えたい気持ちで、代表の方に連絡をとりました。



その後、避難所となっていた中学校の図書室で再開したひろばのお手伝いをしたり、8月仮設店舗に移転した際の再開イベントに、びーのびーのの地元である横浜市港北区の『高田町(たかたちょう)』地区の皆さんと高田町のご当地ゆるキャラ“たかたん”と一緒に参加したり、季節の衣類などの手配をしたりと、できるだけピンポイントで、被災された方々にとって何が必要かを訊きながら、直接支援する「顔の見える支援」を続けています。びーのびーのに支援物資を持ってきて下さった方から「募金もいいけど、何に使われるかわからない。びーのびーのだったら、直接支援している気持ちがするね」と声をかけていただきます。2月にはびーのびーのからきらりんきっずスタッフとひろばの利用者さん向けに“友子ヨコ”を送りました。



高田地区キャラクター
たかたん

“きらりんきっず”はこの春、新たな仮設商店街で再びスタートを切ります。「陸前高田で子育てがしたい」と思えるような町づくりを目指すスタッフの皆さん。新しい商店街に子どもたちの笑い声が響き渡れば、大人もきっと元気になれることでしょう。

「住む場所は離れていてもできること・・・」

想い続けること つながり続けること 支え続けること 伝え続けること...
東北への皆の思いが、更に強まり結がっていくことを願ってやみません。(スタッフ1)



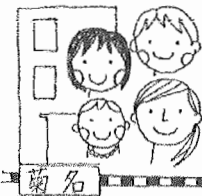
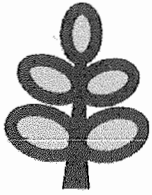
時が経つにつれ、ニュースの頻度が減り、関心が薄れていく事が心配されていますが、今回の災害は多くの子育て家庭にとって決して他人事ではありません。【困っている人がいれば何かせずにはいられない】~1人のスタッフのこの想いを忘れず、びーのびーのとして被災地の方々の心に寄り添った支援を続けていきたいと思っています。

～お知らせ～

NPO 法人びーのびーのが
第1回(平成23年度)横浜市
男女共同参画貢献推進賞
(団体)を受賞しました

3月6日(火)男女共同参
画センター横浜にて、横浜市
長より表彰していただきます。
支えてくださった皆さまに感
謝いたします。

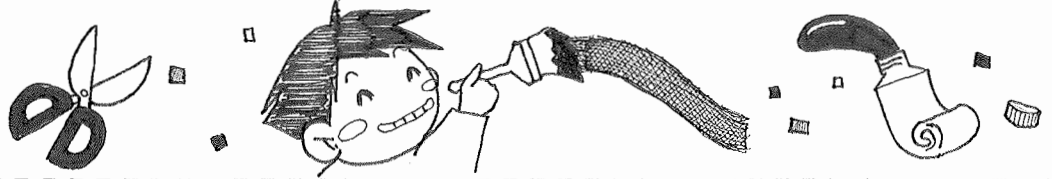
おやこの広場
びーのびーの



菊名

ひろばの風景

まだまだ寒い日が続いています。子どもたちはお外が大好きで、雨が降っていても出て遊びたがります。そんな子どもたちのパワーを室内で発散してもらおうと、段ボールの箱と絵具が登場！みんな筆にいっぱい絵具をつけてペタペタ。当然手も足も洋服にもつけて、何食わぬ顔で筆を動かしています。お母さんたちもそんな様子を見て「あ〜あ。。。」とあきらめて苦笑い。ぬり終わった段ボールは、窓を作って小さなおうちになりました。このおうち、ひろばでも大人気の物件となり、子どもたちは一人ずつ順番に入居(?)しては遊んでいます。(スタッフK)



ひろば利用案内

<入会金>.....1000円
1ヶ月フリーパス.....2100円/月
1回利用料.....300円/回
マタニティ利用料.....200円/回
ビシター利用料.....500円/回

◆0~3歳の子どもが対象です。 ◆ひろば見学は、初回のみ無料です。
◆きょうだいで同時にひろば利用される場合、2人目以降半額。(6ヶ月未満は無料)
ただし、下のお子さんは上のお子さんのひろば卒業と同時に正規料金となります。
◆ひろば利用料は、びーのびーのの運営、維持費として活用させていただいています。

【開館時間】
月・火・木・金 9:00~16:00
水曜日 13:00~16:30
第3土曜日 10:00~14:00

【休館日】
第3土曜日以外の土曜日・日曜日
祝日・年末年始・特別休館日

※入会金は、1家族初回のみ。
のちにきょうだいが入会の場合は不要。

※みんな大きくなったね※もうすぐ入園・・・入園前に気になったことは？

3月にひろばを卒業していく子どもたちがいます。小さな胸にはドキドキワクワクがいっぱいつまっていることでしょう。それは大人も同じ。入園準備に追われながらお父さんお母さんたちの胸にも希望や心配ごとがつまっているのではないのでしょうか。

1月30日に「入園前に気になることをみんなで話そう」というテーマで座談会を開きました。この日の参加者は入園から1年以上過ぎた先輩ママが多く、不安だったことや実際に通わせてみてどうだったかなどの思い出話が出ました。入園前入園後の様子について様々な声をご紹介します。



通園について

- ・すんなりバス停で別られるか? → 通わせてみると案外大丈夫だった。なぜか1年後になって、「お母さんと離れたくない病」になったがすくなくおさる。今は楽しく登園。
- ・(バス通園のため) 親が園に行く機会があまりないので、他の親の顔が見えないのでは? → (バス停に行く) 途中でお友だちと出会えて、楽しく通園できた。
- ・通園時に下の子がベビーカーに乗らないなど言うことを聞かなかったらどうしよう? → 下の子にとっても通園が楽しくなり、心配していたよりもすんなり通えた。大変な時は途中で会った同じ園の人に手伝ってもらい何とかこなしている。

生活について

- ・親の自分が朝の準備をきちんとできるか? → 入園後、子どもが自分からやるようになった。(時間通りに子どもの食事や着替えなどをさせられるか)
- ・子どもだけでなく、親の自分も元気に通えるか? → いざ通うと、暑い夏など自分も体力的に大変だった。自己管理の大切さを感じた。
- ・弁当作りが心配だった。 → 前日にメニューを考え、イラストをホワイトボードに描き準備した。
- ・昼寝のときはいつもママの髪を触って眠る癖があり、保育園のお昼寝の時間に眠ってくれるか? → たくさん遊んでからのお昼寝なのでやっぱり寝ちゃうみたい。

人間関係について

- ・(通わせてみると) 知らない大人の中に置いていかれることに不安を感じて、子どもが自分から離れなかった。 → 先生方が「早く信頼関係を築けるよう、私達も努力しますね。」と温かく言葉をかけてくれたので、安心できた。
- ・(子ども同士) すでにできあがった友人関係の中にわが子をぼんと入れることになるので、うまくなじんでもらえるか心配だった。 → だいじょうぶ、親が心配したって友だちはできる!! 毎日楽しく帰ってきました。
- ・知り合いがおらず、親子で緊張していた。 → 園に行きたがらないときは思いきってサボるのもあり。(家が居心地良いと、外へ飛び出す勇気ができる)



入園するという事は、子どもの成長に寄りそってくれるパートナーとの出会いです。新しい世界に巣立つこの季節、不安や気になることがあればいつでもひろばへどうぞ。入園後もぜひ遊びにきてください。そしてまだひろばへ来たことがない方も気軽に話しに来ませんか?どんな思いでも話し合える場として、私たちはお待ちしています。



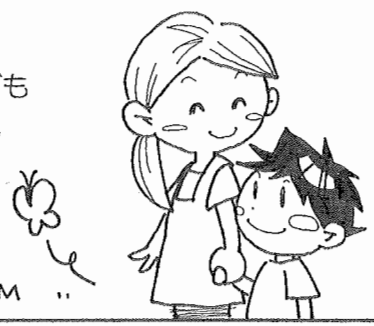
グループ保育の風景



先日ゆーのびーのがある日に、〇〇幼稚園の来年度入園児対象の『1日入園』がありました。午後からということで菊名ひろばで幼稚園の制服に着替えて、ゆーのびーのメンバーから3人が出かけていきました。その制服姿に「あらあ～！一丁前の幼稚園児になってる！」ついこの間までびーびー泣いていたのに大きくなったなあと感じさせられた出来事でした。でも、なんだかさみしい…

今年も一年、雨や強風以外は、歩いて遊びに行った桜田公園。月1回のどろっぴへの電車もちょっとした旅気分でした。先週の焼きそばクッキングもみんなおかわりしていたね！みんな、いつのまにか体も心も「じょうぶ」になってきた気がします。

『みんなは、ゆーのびーのは楽しかったかなあ？』
『まかべっちは、楽しかったよ～！』 (スタッフ M)



□ 8日(木) スタッフミーティングのため、1日休館とさせていただきます。

■ 9日(金) 10:30～12:00 防災を考える日
東日本大震災から1年。子どもがいる家庭での防災についてみんなで考えてみませんか？
要：予約 参加費：無料

■ 13日(火) 11:00～ お話会 予約：不要
元気な子も集まれ、まずは気軽に参加してね。

■ 16日(金) 10:30～ お外でひろば
親子で一緒に公園に出かけましょう。遊びのマイスター真壁が同行します。汚れてもいい服装で。雨天中止。
予約：不要 参加費：50円

■ 22日(木) 10:30～ ベビーマッサージ
鍼灸師の小林規智子先生によるオイルを使わないマッサージです。ママも赤ちゃんもゆったり気分になれますよ。
要予約：8組 参加費：400円

■ 27日(火) 10:30～11:45 子育て相談日
臨床心理士の伊志嶺美津子先生が子育ての中で出会う不安や心配なことを一緒に考えてください。

■ 29日(木) 13:30～ 親子体操
親子で体を動かしましょう。子どももママも動きやすい服装で。
参加費：無料 予約：不要

□ 30日(木) 年度末休館

☆ 一般参加の場合、ひろば利用料として500円別途いただきます。
☆ 水曜日の開館時間は13:00～16:30です。
☆ 今月は22日(木)午前に助産師がいます。お気軽にご相談を。

3月

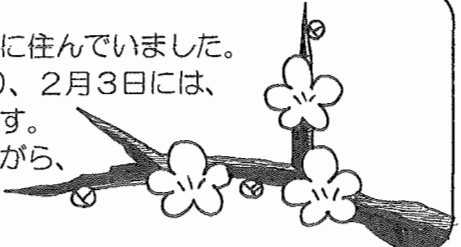
月	火	水	木	金	土
			1	2	3
5	6	7 13時開館	8 一日休館	9 防災を 考える日	10
12	13 お話会	14 13時開館	15	16 お外で ひろば	17 10:00～ 14:00 開館
19	20 春分の日	21 13時開館	22 ベビー マッサージ	23	24
26	27 子育て 相談日	28 13時開館	29 親子体操	30 年度末休館	31

おすすめえほん **だるまさんと** フロンズ新社
かがくい ひろし作
だるまさんが、いちごさん、ばななさん、メロンさんとぺこっとおじぎをしたり、ギュっとハグしたり…シンプルだけど優しいタッチの絵で広がる世界。初めて読み聞かせるママには特におススメです。同じシリーズで「だるまさんが」「だるまさんの」もありますよ。
(会員 清水さん)



～親子ボラと会員のつづやき～

長男(9歳)が生まれた時は、びーのびーのの前の薬局の隣のマンションに住んでいました。長女(7歳)が生まれるときに引越し。次男(4歳)次女(2歳)と授かり、2月3日には、5番目の男子を出産。マシュマロのようなあかちゃんは何人目でも癒されます。保育園、家族、ともだち、子サポの方など多くの方にお手伝いしてもらいながら、子育て奮闘中です。(会員 Fさん)



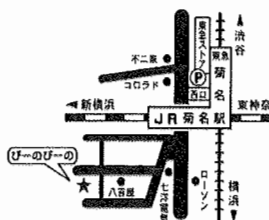
びーのびーの活動って？

NPO法人びーのびーのは、地域で共に育ち合う子育て環境を目指して、港北区内に拠点を置き事業を展開しています。また、各拠点にどう人とのつながりを大切にしつつ、さまざまな連携を図りながら地域への発信をしています。

拠点

親と子のつどいの広場事業 おやこの広場 びーのびーの

◆横浜市補助事業「親と子のつどいの広場事業」
2000年4月開設。商店街の空き店舗を借り上げて、子育て当事者で立ち上げた子育てひろば。利用者である会員やスタッフ、ボランティア、地域の人たちと共に、子どもの遊びや育ちを見守り、出会えるひろば。子どもも大人も居心地の良い居場所づくりを目指して取り組む。<http://www.bi-no.org/>



〒222-0021
横浜市港北区篠原北 1-2-18
TEL 045-439-7447
FAX 045-439-7448

◆開館時間◆
月・火・木・金 9:00～16:00
水曜日 13:00～16:30
第3土曜日 10:00～14:00

◆休館日◆
第3土曜日以外の土曜日
・日曜日・祝日・年末年始
・特別休館日

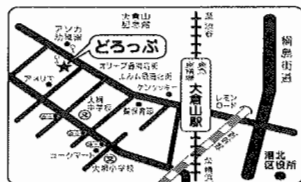
東急東横線・JR横浜線菊名駅西口より徒歩2分

港北区地域子育て支援拠点 どろっぷ

◆港北区地域子育て支援拠点委託事業
2006年3月開設。0歳～6歳までが登録。横浜市次世代育成支援行動計画「かがやけ横浜子どもプラン」における1区に1つの支援拠点モデル事業として開設。5つの要綱(親子の居場所事業/相談事業/子育て情報の収集発信事業/ネットワーク事業/人材育成事業)を総合的に取り組むための拠点として運営。<http://www.kohoku-drop.com/>

・ボランティア体験講座「ボラリーグ☆こほく」
・「港北区子育て応援メールマガジン ココめ〜る」

◆横浜子育てサポートシステム港北区支部事務局
地域の中で子どもを預けたり、預かってもらうことで人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみでの子育て支援をめざす「横浜子育てサポートシステム」の港北区支部事務局として2010年7月より運営。
(月～土曜日 9:00～17:00・専用 TEL 045-547-6422)



東急東横線大倉山駅徒歩10分
または市バス41系統川町行き「観音前」下車

〒222-0037
横浜市港北区大倉山 3-57-3
TEL 045-540-7420
FAX 045-540-7421

◆開館時間◆
火～土曜日 9:30～16:00
◆休館日◆
日曜日・月曜日・祝日・
年末年始・特別休館日
◆登録料・利用料◆ 無料

事業

◆預かり保育事業「ゆーのびーの」

今年度は2～3歳児のグループでの預かりを、おやこの広場びーのびーので水曜日の午前中に実施。在宅家庭支援に必要とされる幼児期の預かりへのニーズに対応する。預かりを通じて親との信頼関係を築き、地域からの理解を得ながら活動。

◆子育て関連情報の編集・制作・販売

・広報紙の発行(毎月)
法人全体の事業や地域の子育て関連情報を紹介。
・幼稚園・保育園ガイドの発行(年1回)
港北区および周辺地域の園情報を掲載

◆菊名 WARA・びー実行委員会

小学生を中心に親子でまちの歴史を学び、交流を深めることを目指した地域交流事業。

◆ウェブサイトの編集・制作・運営

・港北区子育て応援マップ【ココマップ】

〈港北区社会福祉協議会受託事業〉

2004年9月、子育て情報サイトを開設。子育て当事者らによる編集委員会を毎月開催。特集ページの作成、子育て関連イベント情報の提供など充実したサイトを運営。
<http://www.kouhokushakyo.or.jp/>

◆わくわく子育てサポーター事業

学生ボランティアが子育て家庭を訪問し、乳幼児家庭のお手伝いに参加する活動を中心に、活動前の研修や地域学校や保護者との連携の体制づくり、学生ボランティアの活動支援作りのための場づくりを支援。

法人事務局

●NPO法人

びーのびーの事務局
正会員・準会員の管理をはじめ、対外的な窓口として機能を果たす。

関連法人事務局

●NPO 法人子育てひろば

全国連絡協議会事務局
全国の子育てひろばの会員組織を研修事業・調査研究事業などでサポート。

編集後記

小1の息子が学校で鼻にビーズを入れて取れなくなり保健室にいった。呆れて旦那に報告すると「俺は豆3つ入れて耳鼻科に行ったぜ！」と自慢気。ああ…蛙の子は蛙か。(T)

びーのびーの通信

No. 139

発行元 NPO法人びーのびーの 発行人 奥山千鶴子
〈編集〉 米本真貴子 白瀧宏子 今井幸子 高橋直子
原美紀 牧谷泰子 山田弘美 戸松綾子
〈イラスト〉 山田弘美 館 裕香 牧谷泰子



1ポイント 今年のスギ花粉は少ないですが、短期に集中して飛散します。気温が上がる日は要注意。

よねもと耳鼻咽喉科

・・・ベビーカーでの来院可・・・

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00～1:00	○	○	休	○	○	○	休
PM 3:00～7:00	○	○	休	○	○	休	休

休診日 水曜日・日曜日・祝日・土曜日の午後

TEL 045-434-3347

〒222-0013 横浜市港北区錦が丘16-16 YKビル3F

伝言板

NO KEEPER 宣言
FLOWER WORKS

花 PLUS

☆吸水性のスポンジを一切使用していないアレンジができました。管理も霧吹きのみ。観賞後は水と一緒に流せます。お花の持ちはスポンジ使用時と比べると変わりません。もしくはそれ以上の持ちを花材によっては発揮いたします。

また、ベースは陶器で出来ておりますので観賞後はおしゃれなフラワーベースとして使用可能です。

Sサイズ1980円・Mサイズ3150円

横浜市港北区大倉山 2-7-48
TEL/FAX 045-541-1287
URL www.87plus.jp

大倉山駅より徒歩5分
アソカ幼稚園さん横
どろっぷ前